

国・道の動き及び前回会議での議論を踏まえた計画の構成等について

「医療計画の見直し等に関する検討会」意見のとりまとめ概要（平成28年度全国医政関係主管課長会議）

◆ 医療・介護連携について

- 地域医療構想や介護保険事業計画と整合性がとれるよう、都道府県と市町村の協議の場を設置。

◆ 指標について

- 都道府県ごと、二次医療圏ごとの医療提供体制を客観的に比較するため、共通の指標による現状把握を実施。

◆ 5疾病・5事業及び在宅医療について

- 引き続き現状の5疾病・5事業及び在宅医療について、重点的に取組みを推進。

- 「急性心筋梗塞」から「心筋梗塞等の心血管疾患」への名称の見直し等、必要な見直しを実施。

◆ その他

- ロコモティブシンドローム、フレイル等については、他の関連施策と調整をとりながら、疾病予防・介護予防等を中心に、医療・介護が連携した総合的な対策を講じることが重要。

北海道地域医療構想について（平成28年12月策定）

◆ 策定の趣旨

- 平成37（2025）年にいわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる中、医療のあり方は、「地域完結型」の医療に重点を移していく必要がある。
- 地域医療構想は医療のあり方や人口構造の変化に対応し、バランスの取れた医療提供体制を構築することを目指し、平成37年における病床の機能区分ごとの必要量を定めるとともに、その実現に向けて、病床機能の分化及び連携の促進等の施策の方向性を示すもの。

◆ 必要とされる病床数の推計（床）

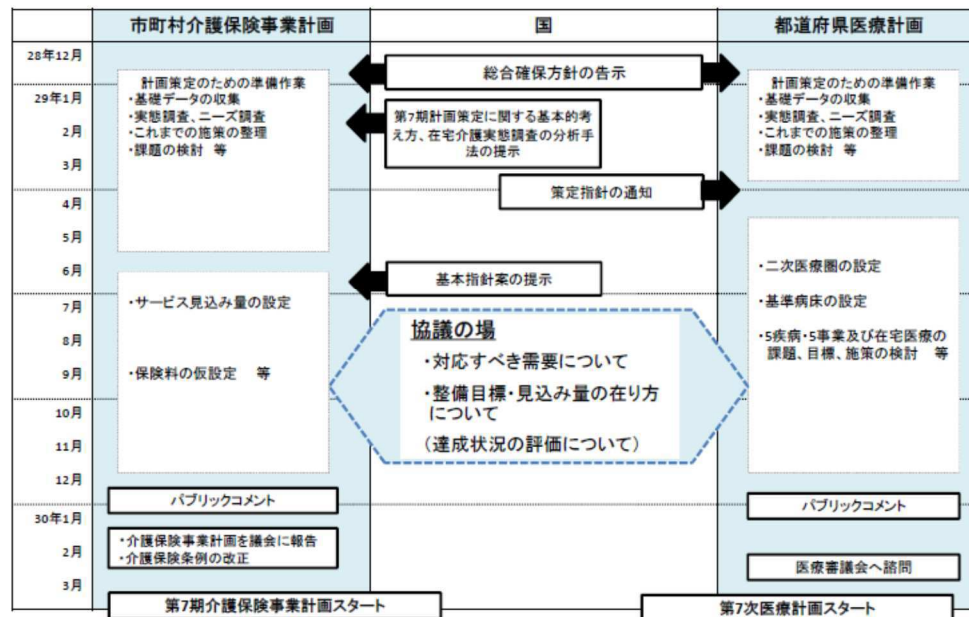
札幌区域	2015年 7月現在	2025年の 病床推計	差
高度急性期	4,185	3,913	272
急性期	14,591	10,951	3,640
回復期	2,131	8,923	▲6,792
慢性期	11,730	11,999	▲269
未報告等	629	—	629
合計	33,266	35,786	▲2,520

◆ 在宅医療等の医療需要（人）

札幌区域	2013年	2025年	差
在宅医療等	23,608	44,509	▲20,901
うち訪問診療	14,193	23,576	▲9,383

- ※札幌区域：札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村
- 回復期病床が不足、急性期病床等からの転換が必要
 - 在宅医療需要増加への対応が必要

第7次医療計画・第7期介護保険事業計画 策定スケジュールのイメージ

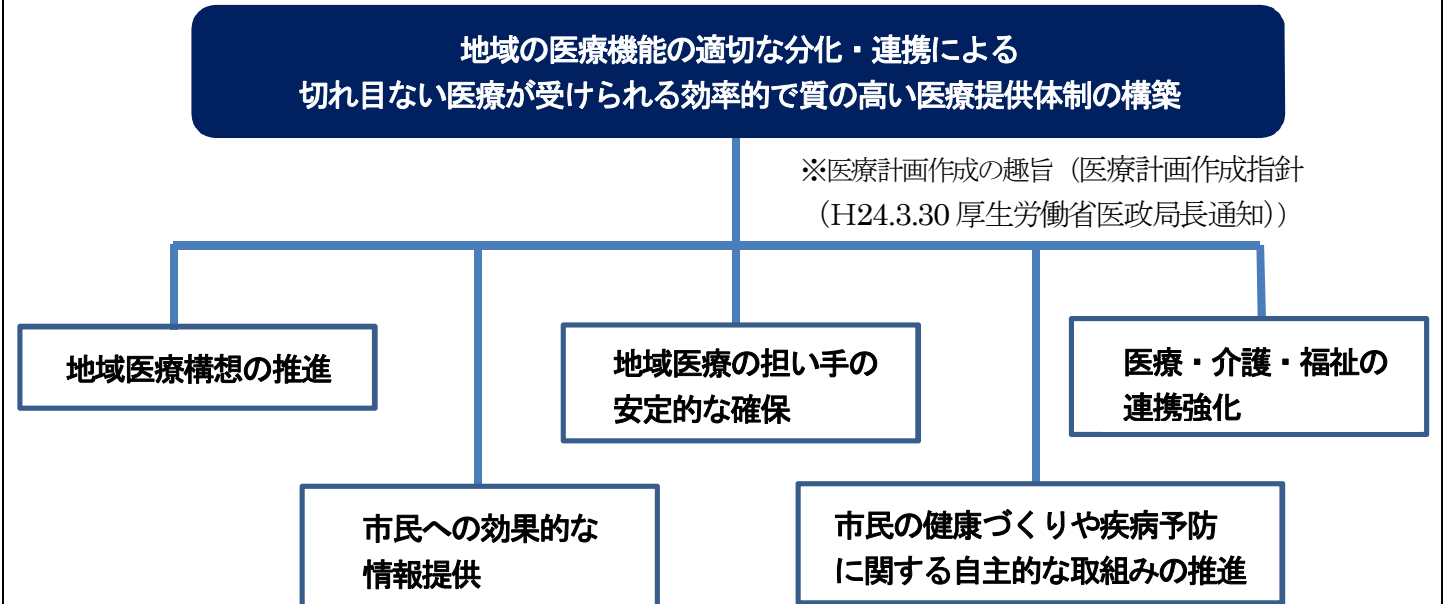


（仮称）さっぽろ未来医療プランについて

◆ 計画の構成

- 5疾病・4事業及び在宅医療に関する取組みを重点的に推進する。
[5疾病：がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患]
[4事業：救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療]
- 計画の目標等（新旧比較）は資料2-2のとおり

◆ 検討時の着眼点（重点検討課題）



◆ 今後の主な検討スケジュール

回数 (予定)	検討内容
第3回 (平成29年5月23日)	計画名称・理念・目標の検討、4事業及び在宅医療ごとの医療提供体制の検討
第4回 (平成29年6月予定)	5疾病ごとの医療提供体制、保健医療施策、医療の安全の確保の検討
第5回 (平成29年7月予定)	計画の推進体制と進行管理の検討、計画（案）の検討
第6回 (平成29年8月予定)	計画（案）の検討・確定